

【単語・文節】

1. 次の文の文節(A)と単語(B)の数をそれぞれ算用数字で書け。
 - ① 銀山駅は、日に三百万人が利用する広大な駅だ。
 - ② 昔、通っていた校舎は廃墟と化しました。
 - ③ このそば屋は察しのよさを激賞している。

【文節の関係】

1. 傍線部の文節を修飾している全ての修飾語を記号で答えよ。

ア イ ウ エ オ

よく 冷えた 透明の 飲み物を 一気に 飲み干す。

2. 主語になる文節を書き抜け。

縁側でお茶を飲んでいる祖父に見守られて、庭の大きな木に夢中で登ったことがある。

3. 「うどんを持ってきた」の「持って」と「きた」の関係と同じものを次から記号で選べ。

ア 彼はとてもやさしい 人だ。 イ この犬は小さくて かわいい。

ウ 花壇できれいな花が 咲く。 エ 一人静かに本を読んで いる。

【用言】

1. 次の文から動詞を探して、()で示した活用の種類に分類されるものを見つけよ。さらに、解答するときは終止形にして書け。

① 夢を見ることが悪いとは言わないが、まずは小さな目標を見つけたらいいと思うよ。

(下一段活用)

② 年末は、実家から母が来て、大根や豆を煮て、お節料理をごちそうしてくれます。

(上一段活用)

2. 傍線部の動詞の活用の種類と活用形を「行」も含めて答えよ。

祖父は徒然草の一節を思い出したのだ。

3. 傍線部の単語の活用形を漢字で答えよ。

① 走って ② 楽しかろう ③ 幸せになる ④ 正確でない ⑤ もしよろしければ ⑥ している

4. 傍線部と同じ意味・用法のものを記号で選べ。

① 問題を解いてみる。

ア 遠くにいるので会えない。 イ これは安いので買った。

ウ 緑の葉っぱがぐつついた。 エ 強いてやることはありません。

5. 次の文は文法的に間違っている。その理由を正しく説明しているものを記号で選べ。

君の作文はおおよそ誤字がなく正しい書けているよ。

ア 形容詞「正しい」に動詞「書ける」を接続させるというように、用言でも別の品詞を続けさせるには、必ず読点を打つか、助詞「て」を入れないといけないから。

イ ある用言に別の用言を接続するには必ず連用形を用いないといけないから。

ウ 呼応の副詞「おおよそ」は、必ず「だろう」「でしょう」などの特定の言葉を下に入れ

ないといけないから。

エ 主語に「作文」などの無生物を置くときは、必ず用言には「らせる」といった他動詞を使用しないといけないから。

【連体詞】

1. 傍線部と同じ品詞を記号で選べ。

それはおかしな話だ。

ア 彼女はゆかいな人だ。

イ 弟はすなおな性格だ。

ウ 桜はきれいな花だ。

エ いろんな花が咲いた。

【接続詞】

1. 傍線部の接続詞の働きを記号で選べ。

今日は暑かった。けれども、冷房をつけなかった。

ア 順接

イ 逆接

ウ 並立・累加

エ 対比・選択

オ 説明

カ 転換

【品詞分類】

1. 次の一文の品詞の構成として適当なものを記号で選べ。

明るい未来があります。

ア 名詞＋名詞＋助動詞＋名詞＋助動詞

イ 名詞＋名詞＋助詞＋動詞＋助詞

ウ 形容詞＋名詞＋助動詞＋名詞＋動詞

エ 形容詞＋名詞＋助詞＋動詞＋助動詞

2. 次の文章の①～⑩の言葉の品詞名を記号から選べ。

六月に①体育祭がある。しかし、梅雨の時期だ。②だから、③ちよつと雨が心配だ。

だが、私たちは④その体育祭に向けて練習して⑤いる。特に大縄跳びは、⑥大変な種目だ。

⑦割り当ての昼休みには、校庭に⑧早く出てみんなで心を⑨合わせて練習している。百回

以上跳んで「⑩あつ」と言わせたい。

ア 名詞

イ 動詞

ウ 形容詞

エ 形容動詞

オ 連体詞

カ 副詞

キ 接続詞

ク 感動詞

3. 次の文章中にある傍線①～⑥の品詞の名前を漢字で書け。

①秀麗な富士山も近づくと荒々しい。

②近づいてみると、ひび割れてすすけた壁面のビルだ。

③雷がたえずゴロゴロ鳴っている。

④日本人は読みが深いというか、察しがよい。

⑤その人は四国の出身だ。

⑥店の主人はこう考えたのだろう。「もりそばをくれ」という意味だと。

【敬語】

1. 次の傍線部の敬語の種類を選択肢から記号で選べ。

①田中様のお手紙を拝見しました。

②暑いのでお茶を飲もう。

③先生がいらっしやった。

④壇上でお話になっているのが田中さんです。

⑤荷物をお持ちします。

⑥粗茶でございます。

ア 丁寧語

イ 謙讓語

ウ 尊敬語